

後期日程 小論文

<出題意図>

課題文は、翁邦雄『人の心に働きかける経済政策』（岩波書店、2022年）の第2章「ヒトはどのように判断・行動しているのか」からの抜粋である。人間は目的や理念を実現するために合理的に行動するが、経済的合理性だけでは説明できないこともある。人間は成長する過程で合理的な損得計算以上に大切なことのひとつとして社会規範の尊重を学習する。課題文は、実際には罰金や補助金のような制度を導入することで、逆に社会規範から外れる行為が行われるという実験結果と、その理由について考察したものである。受験生には、課題文から読み取れることについて論理的に思考するとともに、自分の経験や知識から想像して経済的合理性と社会規範の衝突への対応策を考え、適切な表現で伝えることを求めている。

<採点のポイント>

以下の諸点について評価する。

- ・ 課題文の論旨を正確に読み取っているかどうか。
 - ・ 経済的合理性と社会規範が衝突する具体例をあげているかどうか。
 - ・ 整合する対応策を提案できているかどうか。
 - ・ 記述が説得力をもち、小論文としてまとまっているかどうか。
-